

# 財政援助団体等監査

## 1 監査の種類

補助金等交付団体監査

## 2 監査の対象

名称	所在地
岳南電車株式会社	静岡県富士市今泉1丁目17番39号

## 3 監査の実施期間

令和2年10月12日から同年12月2日まで

## 4 監査の範囲

令和元年度における財政的援助を与えているものの出納、その他の事務の執行で財政的援助に係るものを監査した。

## 5 監査の方法

監査の実施に当たっては、富士市監査基準に基づき、財政的援助等(補助金)に係る出納その他の事務の執行が適正かつ効率的に行われているかどうかを主眼として、補助金交付申請書、事業概要書、補助指令書、実績報告書、その他証拠書類等の資料により、報告書の内容及び事務処理状況を調査するとともに、関係職員から説明を聴取するなど所定の監査を実施した。

また、監査を実施する中で、次の事項について確認することができた。

- (1) 補助金交付申請書は、令和元年5月13日付けで提出され、令和元年6月5日付けで補助金等交付決定通知書を通知していた。
- (2) 補助金62,000千円は、令和2年4月28日付けで指定された口座に振り込み、同日収入されていた。
- (3) 補助金62,000千円は、岳南電車株式会社が本市にもたらしている社会的便益(平成30年度から令和4年度収支見込み及び利用者数予測から算出した額の平均値)の額を目安として算出されていることを確認した。

## 6 監査の結果

監査の結果については、概ね適正に執行されていたが、事務執行の更なる適正を期するため、次のとおり意見を述べる。

- (1) 補助金の算出に当たっては、社会的便益を計算し、その金額を根拠としているが、実質的には赤字額を補助する状況になっている。今後、路線存続の意義、事業の経営形態を含めて、経営改善に向けた本補助金の必要性や市の支援のあり方について検討することを望むものである。

## 岳南電車株式会社

### 1 補助金等の名称

富士市地方鉄道事業運営費補助金

### 2 交付目的

市民の中には車の運転ができない高齢者、障害者、生徒等もいるため、市民の暮らしの足を支える公共交通サービスの一つである鉄道事業は、とても重要な役割を果たしているが、利用者からの運賃収入だけでは運行経費等を賄うことが困難であるため、補助金を交付することで、既存の公共交通サービスを維持・確保する。

### 3 岳南電車株式会社(鉄道事業)収支決算の状況(令和元年度)

収支決算の状況は「別掲」として次のページに掲載した。

### 4 事業活動等

旅客鉄道事業の利用促進を図るため、「ダイヤ改正」、「パーク&ライド駐車」、幼稚園児や小中学生に向けた「電車乗り方教室」及び「工場見学」などの日常の利用拡大に向けた取り組みを実施するとともに、「ビール電車、ジャズ電車などのイベント列車」、「静岡DC（Destinyネーション・キャンペーン）の夜景ツアー」、「多言語対応・クレジット対応券売機の導入」、「魅力ある土産グッズの商品開発」などを行い、市外からの旅客誘致を推進している。

## (別掲) 岳南電車株式会社(鉄道事業)収支決算の状況(令和元年度)

## 収入(営業収益)

(単位:円、%)

項目	予算額	決算額	収入率	増減額	備考
1 旅客運輸収入	145,291,000	140,418,283	96.6	△4,872,717	
2 貨物運輸収入	0	0	—	0	
3 運輸雑収	41,803,000	33,077,219	79.1	△8,725,781	うち市委託料 3,000,000円を含む
4 市補助金	62,000,000	62,000,000	100.0	0	
合計	249,094,000	235,495,502	94.5	△13,598,498	

## 支出(営業費)

(単位:円、%)

項目	予算額	決算額	執行率	増減額	備考
1 線路保存費	23,209,000	20,658,569	89.0	△2,550,431	
2 電路保存費	13,501,000	25,042,386	185.5	11,541,386	
3 車両保存費	12,878,000	12,383,039	96.2	△494,961	
4 運転費	60,822,000	49,198,235	80.9	△11,623,765	
5 運輸費	41,983,000	41,574,975	99.0	△408,025	利用促進事業含む。
6 保守管理費	21,650,000	22,072,809	102.0	422,809	
7 輸送管理費	14,880,000	13,194,191	88.7	△1,685,809	
8 案内宣伝費	13,565,000	7,345,021	54.1	△6,219,979	
9 諸税	8,534,000	8,838,800	103.6	304,800	
10 減価償却費	24,562,000	23,822,151	97.0	△739,849	利用促進事業含む。
11 一般管理費	16,357,000	18,996,053	116.1	2,639,053	
合計	251,941,000	243,126,229	96.5	△8,814,771	

# 財政援助団体等監査

## 1 監査の種類

出資団体監査

## 2 監査の対象

出資団体	所在地	出資比率及び出資額
一般社団法人 富士山観光交流ビューロー	静岡県富士市川成島654番地の10	出資比率 100% 出資額 10,000,000円

## 3 監査の実施期間

令和2年10月26日から同年12月2日まで

## 4 監査の範囲・方法

監査の実施に当たっては、富士市監査基準に基づき、出資団体の出納その他の事務の執行が出資目的に沿って適正かつ効率的に行われているか、会計経理・財産管理等は適正に行われているか、財務諸表は適正に表示されているかを主眼として、平成31年4月1日から令和2年8月31日までの関係帳簿及び関係書類を調査するとともに、当該団体職員から説明を聴取するなど所定の監査を実施した。

## 5 監査の結果

出資団体の出納その他の事務については、概ね適正に執行されていたが、事務執行の更なる適正を期し、次のとおり意見を述べる。

### (1) 退職給付引当金、賞与引当金、貸倒引当金の計上について

貸借対照表を確認したところ、退職給付引当金、賞与引当金、貸倒引当金が計上されていなかったが、これらは、職員の退職給付及び賞与、債権の不納欠損など将来の損失に備えるためのものであることから、計上することが望ましいと考える。出資団体という特性を考慮して専門家による適切な指導・助言を求めるなど検討されたい。

### (2) 実地棚卸の改善及び棚卸資産の計上について

年2回、物品の実地棚卸が実施されているが、物品の数量を確認するのみであり、受払金額の計算が行われていなかった。実地棚卸の際には、受払金額の計算も行うとともに、貸借対照表に棚卸資産として計上する必要がある。

(3) 会費の未収金計上について

会費の未収金計上は行われておらず、実際に入金された時点で「会費収入」として計上されていたが、本来は納付義務が生じた年度で未収金の計上を行うべきである。

(4) 規程等に基づかない運用手続について

規程等の内容を確認したところ、補正手続を踏まず予算を超える金額を執行するなど、規程等に基づかない運用手続も見られた。規程等を再点検し、規程等に基づく運用手続を行うか、又は実態に即して規程等を見直すことが必要である。

(5) 受託事業への切り替えについて

市からは補助金収入のほか、受託事業の収入も発生しているが、補助金収入の中には、受託事業への移行が可能な部分が含まれているため、積極的に受託事業に切り替えることが、事業ごとの収支差額の把握や費用対効果分析を行う上では、より有用なものとする。

(6) 自主財源の確保に向けた取組について

全体の収入の中で、負担金・補助金の占める割合は高く、自主事業による自主財源の確保に向けた取組が十分に行われているとは言い難い。300近い会員の積極的な事業参画を促し、事業収入の拡大を図ることにより、将来の補助金の削減に繋げることを期待する。

# 一般社団法人 富士山観光交流ビューロー

## 1 出資団体の設立目的

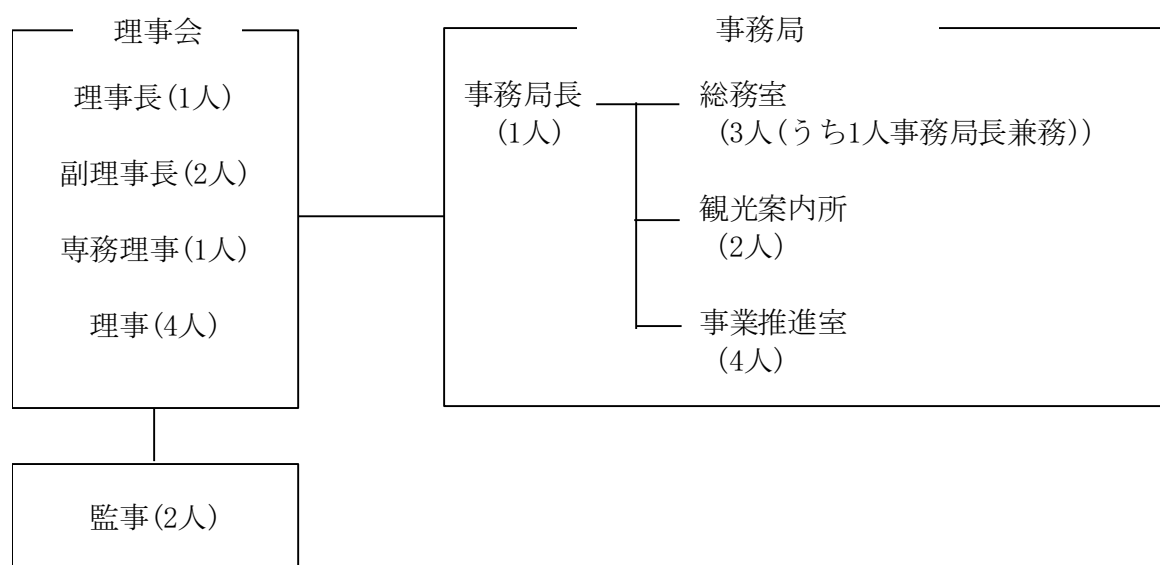
富士山に代表される、富士市及び周辺地域の観光交流資源を活用し、多様な主体の連携のもと、観光交流、物産振興、コンベンションに関する事業を推進することによって、地域の経済の発展や文化振興、相互理解の促進に寄与し、「住んでよし、訪れてよし」の地域実現の一助となることを目的とする。

## 2 主な事業内容

- (1) 地域セールス活動及び誘客活動
- (2) 地域の観光交流情報の収集、整理及び発信
- (3) 観光交流受入体制の整備、観光交流商品造成及び人材育成
- (4) 会議、大会等のコンベンション誘致促進及び受入体制の整備
- (5) 新富士駅観光案内所運営管理
- (6) 旅行業法に基づく旅行業(地域限定)

## 3 組織

(令和2年10月1日時点)



## 4 事業状況

### (1) コンベンション推進事業

スポーツ、学術、文化等の大会に対して、各種パンフレットの提供やコンベンション関連グッズの支援、歓迎モニュメントの設置等を行うとともに、コンベンションに関する情報収集、誘致の商談を行う。

### (2) 観光振興事業

#### ア 旅行商品企画販売協賛事業

富士山しらす街道推進事業として、漁協食堂の運営支援や県外開催の観光PR展での「田子の浦しらす」の紹介、試食、販売を通して、本市への誘客に繋げる。

#### イ 産業観光推進事業

ブルーベリー狩りやサツマイモ掘りなどの農業体験、製紙工場の見学、県外開催の観光PR展での「富士のお茶」の紹介、試飲、販売を通して、本市産業のPRを行うとともに誘客に繋げる。

#### ウ 企画イベント事業

市内への観光誘客を促進するため、吉永・須津地区のレンゲの里づくりを支援するとともに、田子の浦港の賑わいづくりの一環として水陸両用バス「KABAバス」の運行を行う。

#### エ 協賛・補助事業

市内外から多くの集客がある、「吉原祇園祭」や「田子の浦みなと祭り」などの開催支援を行う。

#### オ 観光宣伝事業

富士地域への観光誘客を促進するため、首都圏(1都6県)から中京圏、関西圏及び長野・山梨両県において、観光PR展の開催や旅行会社へのセールスを行う。

また、出版社へのセールス(情報提供など)を行い、旅行雑誌への掲載に繋げる。

#### カ 富士山百景PR事業

富士地域の観光啓発と富士市の観光事業の知名度向上を図るため、東京、名古屋、大阪、長野等の7会場で写真展を開催するとともに、旅行会社や新聞社等に写真を提供する。

#### キ 岩本山・雁堤活用事業

富士山の絶景ポイントの一つであり、梅や桜で有名な岩本山を春先の観光名所とするため、各種イベントを開催し、誘客を図る。

#### ク 観光商品開発事業

富士山百景写真を活用した観光ノベルティ(メモ帳、クリアファイル、除菌ティッシュ等)を作製し、PR活動に活用するとともに、販売商品(マスキングテープ、トートバッグ、クリアファイル等)を作製し、収益に繋げる。

### 5 決算状況

平成30年度と令和元年度の比較正味財産増減計算書及び比較貸借対照表は、第1表及び第2表のとおりである。



第1表 比較貸借対照表

(単位：円、%)

科目	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
<b>流動資産</b>	<b>18,498,445</b>	<b>17,316,533</b>	<b>1,181,912</b>	<b>6.8</b>
現金	110,000	60,000	50,000	83.3
普通預金	5,510,822	2,783,160	2,727,662	98.0
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	0.0
未収金	2,877,623	4,473,373	△ 1,595,750	△ 35.7
<b>固定資産</b>	<b>6,743,306</b>	<b>4,104,764</b>	<b>2,638,542</b>	<b>64.3</b>
特定資産	6,452,144	3,636,003	2,816,141	77.5
退職給付引当資産	2,452,144	3,135,711	△ 683,567	△ 21.8
財務調整積立資産	4,000,000	500,292	3,499,708	699.5
その他固定資産	291,162	468,761	△ 177,599	△ 37.9
建物附属設備	180,960	226,199	△ 45,239	△ 20.0
什器備品	110,202	242,562	△ 132,360	△ 54.6
<b>資産 合計</b>	<b>25,241,751</b>	<b>21,421,297</b>	<b>3,820,454</b>	<b>17.8</b>
<b>流動負債</b>	<b>2,573,370</b>	<b>2,001,990</b>	<b>571,380</b>	<b>28.5</b>
未払金	796,680	1,022,917	△ 226,237	△ 22.1
前受金	49,000	40,000	9,000	22.5
預り金	440,422	420,680	19,742	4.7
仮受金	1,287,268	518,393	768,875	148.3
<b>固定負債</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
<b>負債 合計</b>	<b>2,573,370</b>	<b>2,001,990</b>	<b>571,380</b>	<b>28.5</b>
<b>正味財産</b>	<b>22,668,381</b>	<b>19,419,307</b>	<b>3,249,074</b>	<b>16.7</b>
基金	10,000,000	10,000,000	0	0.0
一般正味財産	12,668,381	9,419,307	3,249,074	34.5
<b>負債・正味財産合計</b>	<b>25,241,751</b>	<b>21,421,297</b>	<b>3,820,454</b>	<b>17.8</b>

第2表 比較正味財産増減計算書

(単位：円、%)

科目	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 182,469</b>	<b>△ 5,976,294</b>	<b>5,793,825</b>	<b>96.9</b>
<b>経常収益</b>	<b>84,117,447</b>	<b>77,697,031</b>	<b>6,420,416</b>	<b>8.3</b>
受取会費	3,330,000	3,190,000	140,000	4.4
会費収入	3,330,000	3,190,000	140,000	4.4
事業収益	14,821,785	9,309,541	5,512,244	59.2
事業収入受託費	4,892,093	6,213,280	△ 1,321,187	△ 21.3
事業収入物品販売等	2,228,880	2,474,124	△ 245,244	△ 9.9
事業収入手数料	1,514,144	510,937	1,003,207	196.3
事業収入使用料	6,186,668	111,200	6,075,468	5,463.6
受取補助金等	61,000,000	60,446,666	553,334	0.9
富士市補助金	61,000,000	60,000,000	1,000,000	1.7
その他補助金	0	446,666	△ 446,666	△ 100.0
受取負担金	4,705,145	4,730,793	△ 25,648	△ 0.5
新富士駅観光案内所運営負担金	3,540,000	3,540,000	0	0.0
その他負担金	1,165,145	1,190,793	△ 25,648	△ 2.2
雑収益	260,517	20,031	240,486	1,200.6
受取利息	2,563	2,602	△ 39	△ 1.5
雑収入	257,954	17,429	240,525	1,380.0
<b>経常費用</b>	<b>84,299,916</b>	<b>83,673,325</b>	<b>626,591</b>	<b>0.7</b>
<b>事業費</b>	<b>20,472,868</b>	<b>19,262,350</b>	<b>1,210,518</b>	<b>6.3</b>
コンベンション推進事業費	787,726	1,076,730	△ 289,004	△ 26.8
誘致活動費	50,720	45,870	4,850	10.6
開催支援事業費	703,866	988,840	△ 284,974	△ 28.8
調査企画・情報収集費	33,140	42,020	△ 8,880	△ 21.1
観光振興事業費	19,685,142	18,158,751	1,526,391	8.4
旅行商品企画販売協賛事業費	1,369,271	2,259,652	△ 890,381	△ 39.4
企画イベント事業費	2,736,485	1,765,542	970,943	55.0
協賛・補助事業費	1,200,134	1,255,950	△ 55,816	△ 4.4
観光宣伝事業費	2,677,000	3,000,491	△ 323,491	△ 10.8
富士山百景PR事業費	3,572,362	4,372,278	△ 799,916	△ 18.3
観光施設整備事業費	226,356	215,791	10,565	4.9

観光ボランティアがいの養成事業費	93,425	96,540	△ 3,115	△ 3.2
岩本山雁堤活用事業費	1,929,625	2,702,500	△ 772,875	△ 28.6
観光商品開発事業費	1,191,987	2,490,007	△ 1,298,020	△ 52.1
駐車場運営事業費	4,688,497	0	4,688,497	皆増
減価償却費	0	26,869	△ 26,869	△ 100.0
<b>管理費</b>	<b>63,827,048</b>	<b>64,410,975</b>	<b>△ 583,927</b>	<b>△ 0.9</b>
総務費	62,034,513	64,268,113	△ 2,233,600	△ 3.5
管理運営費	44,883,599	46,367,900	△ 1,484,301	△ 3.2
企画調整事業費	1,800,995	2,865,481	△ 1,064,486	△ 37.1
観光案内所運営事業費	15,349,919	13,472,891	1,877,028	13.9
10周年記念事業費	0	1,561,841	△ 1,561,841	△ 100.0
退職給付費用	1,683,623	0	1,683,623	皆増
減価償却費	108,912	142,862	△ 33,950	△ 23.8
<b>当期経常外増減額</b>	<b>△ 68,687</b>	<b>1,500,000</b>	<b>△ 1,568,687</b>	<b>104.6</b>
経常外収益	0	1,500,000	△ 1,500,000	△ 100.0
経常外費用	68,687	0	68,687	皆増
<b>他会計振替額</b>	<b>3,500,230</b>	<b>3,886,993</b>	<b>△ 386,763</b>	<b>10.0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>3,249,074</b>	<b>△ 589,301</b>	<b>3,838,375</b>	<b>651.3</b>
一般正味財産期首残高	9,419,307	10,008,608	△ 589,301	5.9
一般正味財産期末残高	12,668,381	9,419,307	3,249,074	△ 34.5
<b>当期基金増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
基金受入額	0	0	0	-
基金返還額	0	0	0	-
基金期首残高	10,000,000	10,000,000	0	0.0
基金期末残高	10,000,000	10,000,000	0	0.0
<b>正味財産期末残高</b>	<b>22,668,381</b>	<b>19,419,307</b>	<b>3,249,074</b>	<b>16.7</b>